ICTで職員行動変化

医療との連携強化に

社会福祉法人西予総合福祉会（愛媛県西予市）では、2017年より介護記録ソフトを導入した。それにより、超過勤務時間の削減につながっただけでなく、職員が記録を積極的に活用するように行動が変化。医療との連携や在宅の高齢者のケアにも活用している。

社会福祉法人西予総合福祉会

法人は、愛媛県西予市を中心に、特別養護老人ホームのほか、障害者支援施設、保育園などを運営している。

法人では、職員の超過勤務への対策が課題となっていた。主に、記録業務にかかる時間が超過勤務の原因となっており、勤務時間が終わってから記録を記入するというのが常態化していたという。そこで、記録の電子化による業務効率化を目的に、介護記録システムを導入した。システムの選定には、現場主任も参加。実際の使い勝手を考慮し、ブルーオーシャンシステム社の「ブルーオーシャンノート」を採用した。ブラインドタッチができない、スマートフォンを持っていないなど、職員のITリテラシーは高いとは言えない状況下、導入を反対する声もあったという。そのような職員でも使いこなせるようにメーカーが用意したものとは別に、現場職員のレベルを考慮した、独自のマニュアルを作成した。写真を多用し、電源の入れ方など初歩から解説するものとしたという。

月末業務、負担減も

システムの導入で、超過勤務はほとんどなくなった。デイサービスの秋田裕介管理者は、「月末の請求業務の負担が特に減少しました」と話す。従前では、予定外のサービス提供を行った際など、記録が曖昧になっている部分が多く確認に手間がかかっていたが、改善されたという。

同時に、職員の行動が変化し、入力した記録の積極的な活用が始まった。あるデイ利用者の場合では、血圧の記録から体調の波を把握することで適切なケアを提供できるようになったという。利用者が入院する場合には、必要な情報を病院へスムーズに提供する体制が整った。「以前は記憶を頼りにしていましたが、記録を即座に参照できるようになり、病院との情報のやり取りがスムーズになりました」（秋田管理者）。さらに電子化で記録の精度も向上。これまで長文で記載されていた記録を、短く、テーマごとに分類するになり、必要な情報が引き出しやすい形になった。

今後は、電子記録の特性を生かし、事業所間の連携も強化していく。

ヘルスケア関連企業 株価研究

第179回

コニカミノルタ（4902）

介護現場の知恵・経験を融合した『HitomeQ（ヒトメク）ケアサポート』の提供を行っている。

「居室の天井に備え付けた行動分析センサーで入居者の行動を解析し、映像とともに介護士のスマホに通知。転倒事故等の発生時には、エビデンス映像が自動的に記録される。ケアの実施後は、ケア記録がスマホに簡単入力できる」。介護士のワークフローを変革する。業務の効率化を進め余裕時間を生み出すことで、入居者のQOLを向上させるという意図がある。

HitomeQコネクトというサービスもある。介護施設と入居者の家族のコミュニティサービス。施設から家族に連絡・報告が送られる。家族はLINEで確認。面会予約もできる。介護士の業務効率化と同様に入居者家族の安心・満足度も重要。施設・入居者家族へのヒアリングを行った上で開発した。コロナ禍に対応するために、オンライン面会などの機能も拡充している。

4月からはサブスク方式での提供を開始。主軸は「見てかけつけ」。入居者の注意行動を認識し、介護士のスマホに映像と同時に通知する。狙いは「無駄な訪室削減／期の介護報酬改定では、

効率化とケアの質向上支援

創出した時間でのケア充実」。転倒転落時などのエビデンス動画の解析で、対応施策の改善・拡充にも繋がる。

介護士不足が指摘されている。記した一連の展開は見方を変えれば、指摘に対する一つの応えと捉えることができる。サービスの導入が約70施設という実績は、その証とも言えよう。こんな事例も一法。

より科学的介護への対応が求められよう。当社ではデータやAIを活用し、業務の効率性だけでなくケアの質を高め入居者のADLの維持・向上に取り組む。在宅介護の展開も準備している」。

時価5００円水準。高値から2割余下値。予想税引き後配当利回り5％弱狙い6００円を待つのも一法。

〈筆者プロフィール〉
1949年生まれ。明治大学経済学部卒。「プレジデント」「ネットマネー」等の雑誌を中心に活躍中。「野村証券・企業部」「ザ・ノンバンク」「一流の経営」など著書多数。

経済評論家
千葉　明

介護Biz

高齢者福祉研究大会

埼玉県で 12／26まで

一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会（さいたま市）は15日から、第13回埼玉県高齢者福祉研究大会をオンラインで開催している。

同会では、▽食事・栄養・口腔ケア▽排泄・入浴ケア▽ターミナルケア・医療との連携▽リスクマネジメント▽リハビリ・レク・アクティビティ▽社会（地域）貢献・地域連携▽人材育成・業務改善と効率化・OJT▽ユニットケア▽新型コロナウイルス感染症▽生活の向上――などのテーマで、28題の研究発表動画を公開している。

社会福祉法人ふじみ野福祉会の「特別養護老人ホームむさしの」は、食事・栄養・口腔ケアのテーマで、施設で選択食を導入した事例について紹介している。

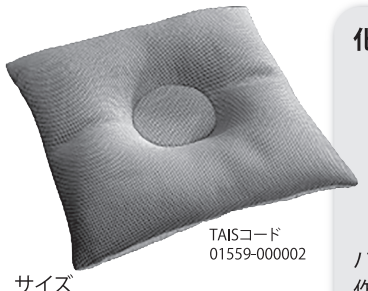
好きなメニューを選べるよう、入居者の人数に対して多めに料理を準備。余った分を職員の食事とした。調理については、およそ4日前から下準備をして真空パックなどで保存。当日は、温め直して仕上げをするだけで提供可能とした。

同大会では、県老人ホーム入居者による創作品展も実施。▽絵画▽ちぎり絵▽立体作品▽手芸▽工芸▽彫刻・陶芸・書道▽その他――のカテゴリーで、作品の写真及び紹介の閲覧ができる。

開催期間は12月26日まで。

正しい姿勢をサポート

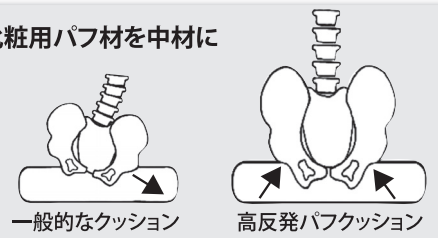
高反発「パフクッション」



TAISコード
01559-000002

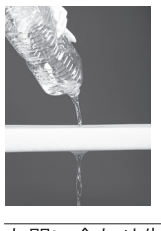
サイズ
縦400×横400×高さ50mm

化粧用パフ材を中材に



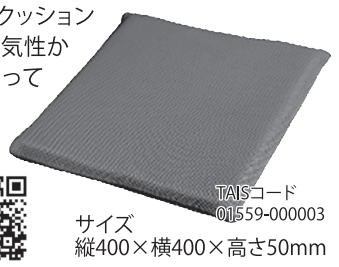
一般的なクッション　高反発パフクッション

パフ材の適度な反発力が正しい姿勢を保つように作用し、腰痛の予防や腰痛の軽減が期待できます。



通気性抜群「爽快クッション」

中材にアキレス株式会社のムマック®を、カバーにはダブルラッセルメッシュを使用しています。流した水がクッションを通過して流れ落ちています。この通気性から褥瘡の予防が期待できる商品となっています。



TAISコード
01559-000003

サイズ
縦400×横400×高さ50mm

お問い合わせ先 TEL.072-223-9755

有限会社 南大阪リビング 介護事業部
http://minamiosakaliving.co.jp

NEC×グッドツリー共同オンラインセミナー

科学的介護に悩むデイサービス様必見！

デイサービスに求められる
LIFE活用と機能訓練

以下の課題に取り組む際のポイントを解説します。
✓ LIFEの対応を進めたい
✓ 個別機能訓練加算・ADL維持等加算を算定したい
✓ 自立支援に資する個別機能訓練を提供したい

講師：木村佳晶氏
（理学療法士）
一般社団法人
ICTリハビリテーション研究会 理事

2021年 日時 12月13日（月） 14:00～15:30

スマホで簡単申込

お申込はこちら▶ https://jpn.nec.com/rtrepo/seminar/rtrepo211213/

【お問合せ先】NEC AIプラットフォーム事業部
TEL 044-431-7675（平日 9:00～17:30） info@rtrepo.jp.nec.com